



岡山さんぽメールマガジン 第106号 2016年11月1日(火)



1. 相談員便り『麻疹（はしか）騒動の教訓』

【勝田吉彰相談員】

2. メンタルヘルスの特別相談日のご案内

3. 研修会のご案内

◆11月・12月・1月開催の研修会

◆岡山労災病院、岡山医療センターでの産業保健研修会

◆産業保健集中研修会

◆治療と職業生活の両立支援セミナー（11月9日）★申込締切 11/2

◆第10回じん肺診断技術研修

4. 編集後記

---

1. 相談員便り

---

『麻疹（はしか）騒動の教訓』

岡山産業保健総合支援センター相談員

勝田吉彰

8月から関西空港を舞台に世間を騒がせた麻疹（はしか）騒動。関空を発端とする感染は一旦の収束をみましたが、産業衛生にも大いにかかわる教訓がたくさん残りました。今回は、この麻疹アウトブレイクを振り返りたいと思います。

1. 麻疹は「国境を越える感染症」として今後、繰り返し入ってくる。

麻疹に関して、WHOは2015年3月に日本に対して「麻疹排除宣言」を出しました。これは、日本国内に定着した（土着の）麻疹ウイルスはもはや存在しないというお墨付きです。この宣言以降に日本国内で確認された麻疹は基本的に輸入例、すなわち「国境を越えてきた感染症」で、2015年にはわずか35例を数えるのみとなりました。

一方で、国境を越える人の動きが爆発的に増えるにつれ、感染症から国境が無くなってきたのは、一昨年のエボラや昨年韓国での MERS 騒動を見ても明らかです。麻疹についてみると、特にその流行地と日本との間に人の流れが増えているのです。WHO の麻疹発生地図を見ると、特に濃い焦げ茶色がついているのがインド・インドネシア・中国・モンゴルといった国々で、フィリピンは次のランクの色がついています。そしてここ数年、これらの国々との間に LCC（格安航空）の新規就航が相次ぎ、これらの国々からやって来る人々、これらの国々に行って帰ってくる人々を通じた「感染症の通り道」は広く太くなるばかりです。

今回の流行が、LCC の新規就航が相次ぐ関西空港というのはまさに象徴的でしたが、この、濃厚流行地に太いパイプがつながる状況が今後も継続する以上、今回のような騒動は繰り返し発生する前提で、職場のなかで麻疹感染者が発生することを想定してゆくことが必要です。

## 2. 人が集まる「マスギャザリング」の問題

WHO の麻疹排除宣言を受けた、国内に麻疹が無い国にどこからか持ち込まれて感染拡大する。そういうありがたくないストーリーが展開したのは日本だけではありません。2013 年から 14 年にかけてのアメリカ合衆国、ロサンゼルスの本家ディズニーランドでそれは起こりました。どこの国からか持ち込まれた麻疹がディズニーランドの喧騒のなかで次々感染し、米国全土はおろかカナダやメキシコまで広がってしまいました。こうした、大勢の人々が集まり、また広範囲に散ってゆくのを「マスギャザリング」といい、感染症や公衆衛生の専門家を悩ませる事象となっています。有名なところではサウジアラビアのメッカに 200~300 万人が集まるイスラム教の巡礼やオリンピックなどがあります。今回の発生でも、幕張メッセで開催されたジャスティンビーバーの大規模コンサートに感染者が行ってしまい騒動の火に油を注ぎました。

麻疹に限らずマスギャザリングで拡大する感染症はさまざまにあります。こうした大規模イベントに参加した人がいないかどうか、あなたの会社を守るためには、普段から把握をこころがけましょう。

## 3. 感染に弱いのは 20~30 代の「ワクチン 1 回接種世代」

かつて日本の麻疹ワクチン定期接種は 1 回でした。免疫が不完全な人も多く、2007 年には麻疹大流行で有名大学がいくつも休校になってしまうという出来事がありました。(先進国のはずなのに) 麻疹輸出国という国際社会からの批難を浴びた日本政府は、その後 2 回接種に切り替え、また、特定年齢に 2 回目のワクチン接種を 5 年間継続という施策をおこない、なんとか 2015 年の排除宣言に漕ぎつけたわけです。しかしここで網の目から漏れた世代があります。26~39 歳ですが、少し広くとって 20 代からアラフォーと覚えておくとよいでしょう。この世代はワクチン接種を 1 回しか受けていない割合が高く、未接種なら 2 回目を受けていただく必要があります。母子手帳の確認、親への確認、罹患歴の確認（実際に麻疹にかかっている場合、免疫がついている）をおこなってもらいます。関空の麻疹発生を受けた啓発活動もあり、現在は一時的にワクチンが品薄な現状にありますが、それが解消すれば（お近くの医療機関に問い合わせれば良いでしょう）、この世代の社員には 2 回目接種について啓発していただければと思います。

### WHO の麻疹発生地図

[http://www.who.int/immunization/monitoring\\_surveillance/burden/vpd/surveillance\\_type/active/big\\_measles\\_reportedcases6months.jpg?ua=1](http://www.who.int/immunization/monitoring_surveillance/burden/vpd/surveillance_type/active/big_measles_reportedcases6months.jpg?ua=1)

◆勝田相談員の研修会はこちら

『部下を持ったら知っておかなければならないメンタルヘルスについて』

『インフルエンザの最新動向とその備えについて』

<http://www.okayamas.johas.go.jp/01-ke-z.html>

◆勝田相談員への相談はこちら

<http://www.okayamas.johas.go.jp/02-so.html>

---

2. メンタルヘルスの特別相談日のご案内

---

メンタルヘルス不調者の主治医として、また多くの事業場の産業医としても活躍され信頼の高い、岡山赤十字病院精神科部長の中島誠先生が、事業場でのメンタルヘルスの様々なご相談にお答え致します。また、ストレスチェックを行う産業医等からのご相談にも対応いたします。無料でご利用いただけます。

◇相談日：毎月、第1金曜日 14時～17時

◇電話：086-212-1222

◇場所：岡山産業保健総合支援センター

岡山市北区下石井2-1-3 岡山第一生命ビルディング12階

(時間内で来所相談、電話相談ができます。事前の予約をお勧めします)

今月の相談日時：11月4日(金) 14:00～17:00

詳細はこちら

<http://www.okayamas.johas.go.jp/pdf/02-so-nakasima.pdf>

---

3. 研修会のご案内

---

◆ 11月・12月・1月開催の研修会 ◆

受講料：無料

会場：ピュアリティまきび（岡山市北区下石井2-6-41）

日時：11/1（火）13:30～15:00

テーマ：心の病気について

日時：11/7（月）9:30～11:30

テーマ：部下を持ったら知っておかなければならないメンタルヘルスについて～ストレスチェックを含め～

日 時：11/10（木）14：00～16：00

テーマ：最近の労働衛生における健康診断事後措置の意味について

日 時：11/18（金）14：00～15：30

テーマ：アルコールの与える影響について

日 時：11/30（水）15：00～16：30

テーマ：うつ病と就労の問題について

日 時：12/07（水）14：30～16：00

テーマ：健康診断結果の見方と健康増進活動について

日 時：12/12（月）9：30～11：30

テーマ：インフルエンザの最新動向とその備えについて

日 時：12/14（水）14：30～16：00

テーマ：うつ病の理解と対応について

日 時：1/20（金）14:00～15:30

テーマ：保健指導の基本について ※対象：産業看護職

研修会の申込はこちら

<http://www.okayamas.johas.go.jp/01-ke-z.html>

平成28年度研修会一覧はこちら

<http://www.okayamas.johas.go.jp/pdf/01-ke-semi28.pdf>

---

◆ 岡山労災病院、岡山医療センターでの産業保健研修会 ◆

産業保健に関心のある方なら、どなたでもご参加いただけます。

産業医の方は、生涯研修の単位を取得できます。

時間：19：00～21：00

◆会場：岡山労災病院（岡山市南区築港緑町1-10-25）

11月10日（木）『事例で学ぶメンタルヘルス対応（難渋編1）』

12月08日（木）『事例で学ぶメンタルヘルス対応（難渋編2）』

詳細、申込、その他の研修会情報はこちら

<http://d.hatena.ne.jp/okayama-eisei/>

---

◆産業保健集中研修会◆

産業保健に関心のある方なら、どなたでもご参加いただけます。  
産業医の方は、生涯研修の単位を取得できます。

11月5日（土）13：00～18：15

◆内容

- ・就業規則にもとづくメンタル対応の試みと社会保険労務士への期待
- ・産業医と社会保険労務士の連携事例
- －それぞれの立場からお互いのニーズを探る－
- ・具体的な就業規則項目について検討する（グループ演習）
- －復帰基準の明文化と欠勤・休職の通算規定の整備－
- ・弁護士から見た就業規則にもとづくメンタル対応の可能性
- ・ケースバイケース対応ではないルールにもとづくメンタル対応

◆会場：岡山第一生命ビル3階貸会議室（岡山市北区下石井2-1-3）

詳細、申込、その他の研修会情報はこちら

<http://d.hatena.ne.jp/okayama-eisei/>

---

◆治療と職業生活の両立支援セミナー◆

11月9日（水）13：30～17：00（会場13：00）

- ・我が国におけるがん対策について
- ・「治療と職業生活の両立支援ガイドライン」について
- ・職域におけるがん教育の重要性
- ・シスメックスにおけるがん対策について

会場：岡山国際交流センター（岡山県岡山市北区奉還町2丁目2-1）

定員：150名

備考：参加費無料 ★申込締切11月2日

詳細、申込はこちら

[http://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/report/info\\_161109\\_okayama.html](http://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/report/info_161109_okayama.html)

---

◆第10回じん肺診断技術研修◆

11月24日（木）、25日（金）

会場：独立行政法人労働者健康安全機構 総合研修センター  
（神奈川県川崎市中原区木月住吉町1-1）

目的：じん肺健康診断に従事する医師として必要な法制度の知識及び専門技術を取得する。

単位：産業医認定単位 生涯研修 9.5 単位（申請中）

詳細、申込はこちら

<http://www.johas.go.jp/index/tabid/754/Default.aspx>

---

#### 4. 編集後記

---

11月は「過重労働解消キャンペーン」期間です。トップが決意を持って、長時間労働の削除に向けた取組を推進しましょう。皆様の会社に毎晩遅くまで働いている方はいませんか？皆様は1日の中でどれくらい仕事をしていますか？効率の良い仕事をする環境がありますか？健康なからだ、適切な労働時間、健全な労働環境。この機会に一度、みなおしてみませんか？詳しくは、専用WEBサイト「過重労働解消キャンペーン」を御覧ください。また、当センターでも、過重労働・健康診断の事後措置・ストレスチェック制度について等の相談を無料で行っております。詳しくはホームページの「相談」のコンテンツを御覧ください。

---

次回の第107号は12月1日（木）に配信予定です。